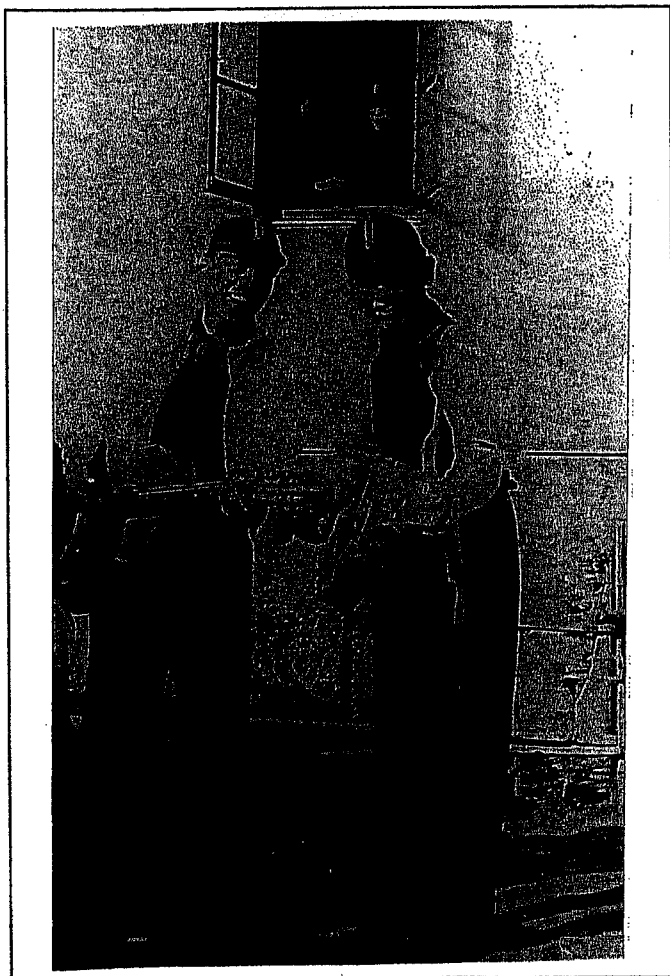


第3回 明治大学小史展

# ある戦没学徒の生涯

—政治経済学部生・武石益則—

1999・10・26 (火) ~2000・1・31 (月)  
大学会館1階ロビー



1941年から1945年までの太平洋戦争は史上、稀にみる大事件でした。それだけに多くの人々の尊い命が奪われました。その中には、明治大学の関係者も少なくありません。

今回は学業の半ばにして戦場に消えた政治経済学部学生の武石益則氏の短かい生涯を紹介します。

なお、本展示品は最近、実妹の富樫直子氏（広島市在住）より本学に寄贈されたものの1部です。

## 展示品

### 1. 旧制宇部中学校時代の写真（昭和9年8月）

武石益則氏は大正10年4月8日に生まれ、山口県宇部市の神原小学校卒業後、県立宇部中学校に進みました。これは同校の剣道部入部当時のものです。

### 2. 予科時代の写真

大倉高等商業学校（現、東京経済大学）を中退し、昭和15年4月明治大学予科（今の和泉校舎の所）に入学しました。

### 3. 予科の生徒証（昭和16年4月）

2年時のものです。裏面には写真欄と「生徒証ニ関スル注意事項」があります。

### 4. 予科生のバッヂ

予科生は義務付けられた制服・制帽に、このバッヂを付けました。

### 5. 予科時代の学習ノート（昭和15年・17年）

多く残されているノートのうち、1・2年時の3冊（哲学・論理倫理・数学）を展示しました。大学のマーク入りノートです。

### 6. 予科時代の成績表（昭和16年3月22日、昭和17年4月22日）

ここには1年の成績通知と2年時の成績表を展示しました。文中の第2種とは旧制中学校卒業者で、予科在学は2年間です。

### 7. 野球大会の賞品（昭和15年）

この湯呑茶碗は予科野球大会に出場した時のものです。

### 8. 予科時代の日記（昭和15年9月5日～同16年5月25日）

「心の日記－真実の告白－」NO.3とあるこの日記には日々の出来事や心情が詳しく綴られています。

### 9. 学会の大会プログラム（昭和18年5月）

戦時下、学内の各団体は報国団の傘下に入れられました。同氏の所属する政経学会や貿易学会も例外ではありません。

10. 学部時代使用の教科書（昭和18年6月、同年8月）

昭和17年4月、政治経済学部経済学科に入学しました。これは当時、使用した大学前・笠原書店発行の教科書です。

11. 「明治大学慰問演芸隊 総務部用」記録（昭和18年4月～）

昭和15年予科祭に出演した仲間たちは、16年に演芸隊を名乗りました。リーダー武石益則の下、総務・内務・外部・音楽の4部編成、隊員は30余名で軍需工場、病院、町内会等を多い年は27回も公演しました。

12. 隊員證と隊旗

隊員證には、内側や裏面に注意事項、隊則、隊歌が記されています。

13. 明治大学慰問演芸隊々歌（草稿）

明るく、楽しくなりそうな文言が連なっています。

14. 脚本（昭和17年）

武石氏は隊の運営、脚本の制作、さらに出演とまさしくスーパーマンでした。これは自作の脚本の1部です。

15. 慰問演芸隊公演プログラム（昭和18年7月）

豊橋市内の飽海町内会で公演した際のプログラムです。

16. 松竹撮影所における記念写真（昭和17年6月21日）

この写真は松竹を訪問した際、往年の大女優原節子らと撮ったものです。

17. 演芸のようす（昭和17年5月30日）

武石氏の演芸は、演劇、漫談、落語等、さまざまな分野に渡っています。

18. 演芸活動のひとこま

『マライの虎』出演中の武石氏（昭和17年6月25日）と前代記念館玄関での記念写真（昭和17年7月12日）です。こうした活動の写真は2冊のアルバムに整理されています。

19. 演芸大会の礼状（昭和18年5月）

千葉県津田沼・田中航空機器製作所で公演したのち、同社から受け取った礼状です。当時、学内紙『明治大学新聞』もこうした活動を絶賛しています。

20. 「出陣の言葉」 (昭和18年)

しかし戦局が激しくなり、同隊は昭和18年10月に解散し、メンバーは繰り上げ卒業となり、戦場に向かいました。武石氏も12月、宮崎県都城の陸軍部隊へ入営しました。このあと同氏は昭和20年5月31日、フィリピン・ヤンピランに散ってしまいました。

21. 出征前の記念写真

出征直前、自宅（東京都中野区）で家族や友人と撮ったものです。

22. 兵役時代の記念写真

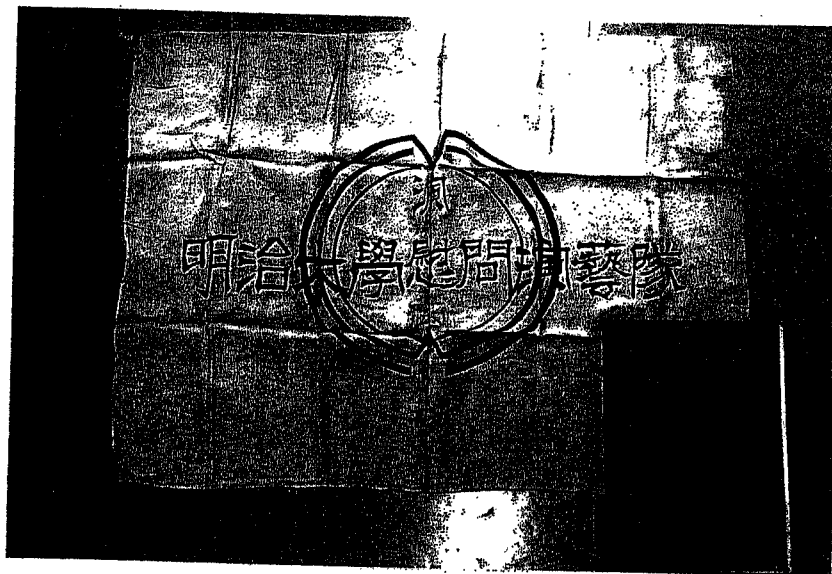
姉の千代さんが都城へたずねてきてくれた時の写真です。

23. 姉への葉書 (昭和18年12月5日)

自宅にいる姉（千代さん）に都城から宛てたものです。2人の間に暗号のようなものがあつたのでしょうか。読んだ□は姉がつけたものです。

24. 軍務手帳 (昭和19年6月)

これは熊本県予備士官学校で学んだ時の訓練のメモです。



1999・10・26

明治大学歴史編纂事務室

03(3296)4085・4086